

1月	学校だより かがやけ	野々浜小学校
	かしく うつくしく たくましく	2010年(平成22年)1月13日 文筆：竹友義満

新年、明けましておめでとうございます。昨年度は、新型インフルエンザの影響で緊急対応をすることが多くなり、大変ご心配・ご迷惑をおかけいたしました。それにもかかわりませず、ご協力頂きまして、大変感謝いたしております。

さて、今年は、寅年にちなみ色々なことにトラ(寅)イできる年にする事、新型・季節性インフルエンザに^{ほんろう}翻弄されることなく、予定通り教育活動ができることを願って新年をスタートいたしました。教職員一丸となり、本年度の「かしく」「うつくしく」「たくましく」児童を育むことのまとめをし、卒業・進級させるために全力を尽くしますので、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

A型(新型)インフルエンザの学級閉鎖の基準変更について

昨年末、新型インフルエンザについて、学級閉鎖基準を1点変更して対応をするように市教育委員会から指示がありました。

【変更点】閉鎖基準：新型インフルエンザも感染者が1割 学級の2割程度。

閉鎖期間：休業日、祝日を含む4日間。

学校閉鎖の基準：学級の1/3以上が閉鎖になったら、学校閉鎖。

緊急連絡網再調査(昨年末)結果

1 目的 第一次 緊急時に活用 原則：第二次緊急時、活用しない。

第一次緊急時とは、天変地異や流行性疾病などにより、急に対応しなければならない時。

(例)・インフルエンザなどの疾病による突然の学級・学年閉鎖

・風水害の6時以降の「警報発令」に伴う対応 . . . 緊急下校・迎え依頼など

第二次緊急時とは、事前に判断基準を保護者にお伝えしておけば、緊急にならない時。

(例) 行事の中止・延期 . . . 朝6時現在の様子(雨天・警報)で保護者判断。

2 結果メール発信希望約57%、電話希望約43% (昨年12月26日現在)

3 緊急連絡体制 「メール」・「電話」の2方法で実施。

メール . . . 開封が学校で確認できますので、未開封の場合、電話で連絡します。

電話の場合・・・連絡が80%以上の確率でつながる番号を記入してください。

*次の方への連絡を忘れないようにしてください。

*他の保護者の電話番号を子どもが漏洩しないように管理してください。

4 *テスト発信 年4回(4月の登録時,年3回の校内避難訓練の日)

5 最終希望調査実施 1月12日(月)調査用紙を配布済み。

最終的に、「メール」か「電話」の選択をして下さい。(来年度は,4月に再希望をとります。)

年度途中の変更はできません。

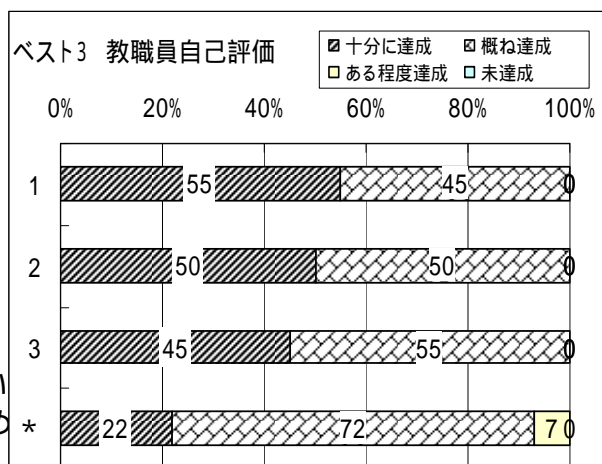
第2回 学校評価アンケート結果のお知らせ

【 】内第1回目との比較。十分に達成・概ね達成の和=「肯定的評価」,ある程度達成・未達成の和=「否定的評価」とし,考察した。以下にします達成率は「肯定的評価」率を意味する。

教職員

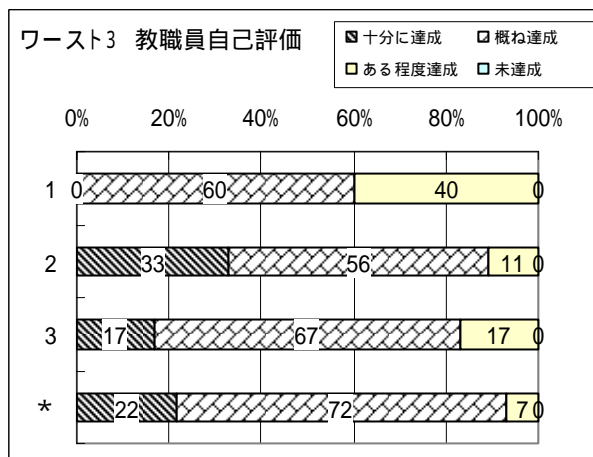
順位 ベスト3 教師自己評価

- 育てたい児童像(かしく・うつくしく・たくましく)を意識し実践している。
- 自分から進んで目と目を合わせてあいさつをしている。
- 学校全体としてめあてを持たせ,生活させている。
* 全体平均(26項目)
全体平均が94%【1%減】と90%以上の達成率。
1位・2位の項目が上位にきた。重点化した育てたい子ども像への取組みを,教職員が気持ちを合わせ進めている。



順位 ワースト3 教師自己評価

- 家庭学習のねらいを明確にし,しっかりと定着させている。
- 算数のまとめとして適応問題を実施している。
- 算数ドリルタイムで計算スキルをあげる取組みをし効果をあげている。
* 全体平均(26項目)
1位の家庭学習【16%減】であり,11月末に「学習のてびき」を作成し,全学年意識統一をして取組みを始めた。チャレンジノートの交流を行い,各学年のねらいが達成できるように取組みを進めている。
算数の適応問題の実施は,第1回目ではベスト1位にあった項目である。特に2学期の後半,新型インフルエンザによる影響で実施率が低下した。3学期は,実施率を上げると共に,昼の帯タイム(算数ドリルタイム・計算スキルタイム)で確実に習得を図っていく。



児童

順位 **ベスト3 児童自己評価**

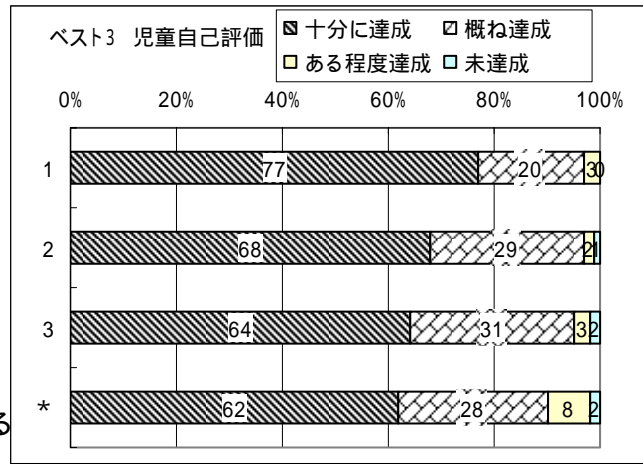
- 1 GTを招いての学習は、分かりやすく楽しい。
- 2 目と目を合わせ、進んで元気なあいさつができる。
- 3 「めあて」にそって、授業のふり返りができる。

* 全体平均(25項目)

GT(ゲストティーチャー)を招く学習【5%増】は、児童にとり、大変楽しみな時間となっている。さらなる積極的な活用を図りたい。

あいさつは、教職員・児童・保護者共に自己評価が高い。しかし、地域の評価が依然低いため、地域生活の場で活かせるものにしていくことが課題である。学校としては、「登下校で地域の人へ10人は、あいさつをする。」(形)と「挨拶の大切さ」(質)を指導しているところである。

授業での学びを確かにするために、「ふり返し」に力を入れてきた。学びを「ふりかえる」ことができつつあることを大変嬉しく思う。



順位 **ワースト3 児童自己評価**

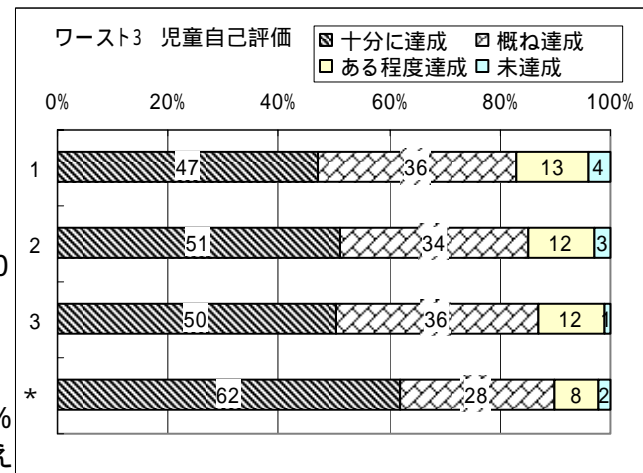
- 1 なかま学習で、友達との考えの違いやよさをもとに発表している。
- 2 給食の時、3大栄養素を意識して食べている。
- 3 ことばタイムで感じたことや思ったことを話せる。

* 全体平均(25項目)

1位のなかま学習での発表の達成率は83%【±0%】である。内容的には、発表を通して考え方を深める(強化・広がり・新アイデア)ことができる児童が増えてきている。

2位給食時の3大栄養素の意識の達成率は、85%【2%減】であった。日常的な放送や声かけに加え集会活動で新たに意識啓発をすることとした。

3位のことばタイムの達成率は、86%【2%減】であった。問答ゲームに加え、マンネリ化を防ぐため、描写や「つなぎ発言スキル」などの新しい取組みや異学年交流を進めていく。また、生活の場から題材をとり、生活に活かせるように取り組んでいく。



順位 **ベスト3 保護者自己評価**

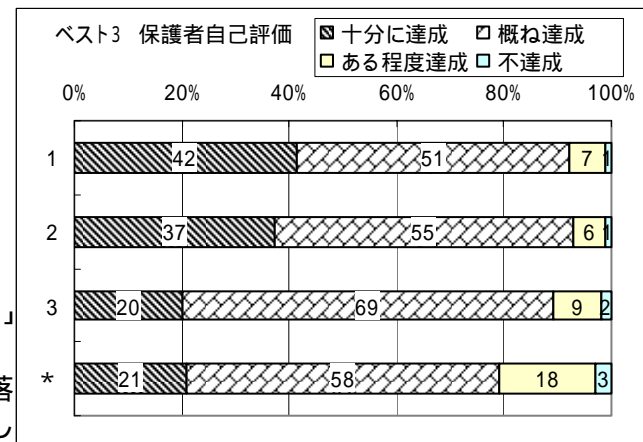
- 1 服装や持ち物など、学校の決まりを守るように気をつけている。
- 2 あいさつをするように日頃からしつけている。
- 3 先生達は協力して子どもの指導にあたっている。

* 全体平均(22項目)

1位「学校のきまりを守るように気をつけている。」の達成率は93%【10%増】と高く、保護者の皆様の協力のもとに、大きな服装の乱れも無く、落ち着いた雰囲気を保っていることに改めて感謝申し上げます。

あいさつは、地域に広がるように、共に引き続き取り組んでいきましょう。

教職員の協力体制【1%増】を評価して頂き有難うございます。今後も、子ども達の学びを深めるために教職員一同協力して取り組んでいきます。



順位 ワースト3 保護者自己評価

- 1 本を読むように声かけをしている。
 - 2 学習する習慣が身についている。
 - 3 学校は保護者や地域の願いにこたえている。
- * 全体平均(22項目)

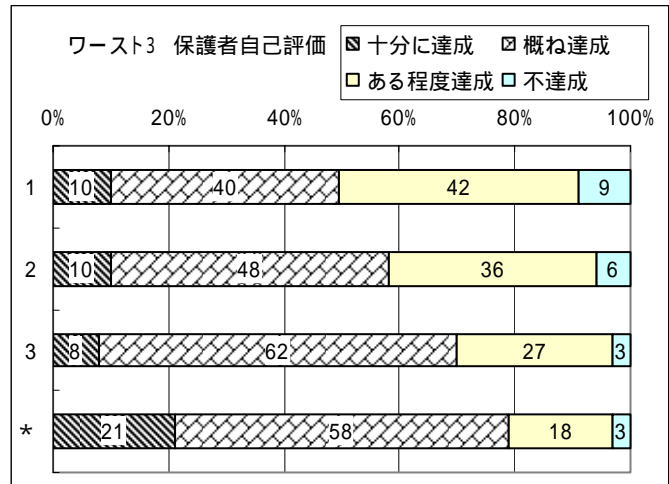
1 位の本読みへの声かけの達成率は、50%

【6%減】であった。

2 位の学習する習慣の定着率は、58%【4%減】であった。

3 位の学校への保護者・地域への願いの達成率は、70%【5%減】であった。

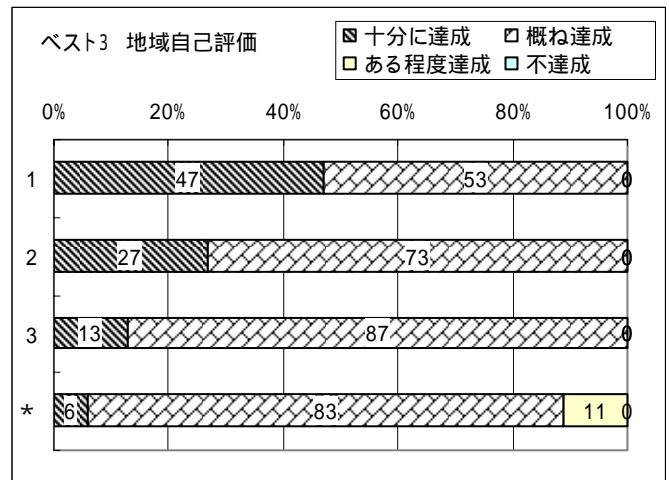
「家庭学習」(本読みを含む)については、学校としてのスタンスを「学習のびき」として示し、取組みを進めています。保護者の皆様もチャレンジノートへのコメントや児童への声かけをお願いいたします。不明な点や不安なことがありましたら、担任へ連絡帳か電話などにて、相談ください。また、保護者の皆様の願い等も、1月下旬の授業参観後、学級懇談会がありますので、おうかがいできればと思います。



順位 ベスト3 地域自己評価

- 1 学校は、環境が整備されていてきれいである。
 - 2 学校行事には、参加している。
 - 3 学校から送られてくる文章は、丁寧に読んでいる。
- * 全体平均(14項目)

学校環境【16%増】、学校行事参加率【64%増】、学校送付文章を読む率【39%増】が、軒並み100%となり、関心を持ち学校を見守り、育てていこうとする地域の皆様の熱い思いが伝わって評価を頂きました。



順位 ワースト3 地域自己評価

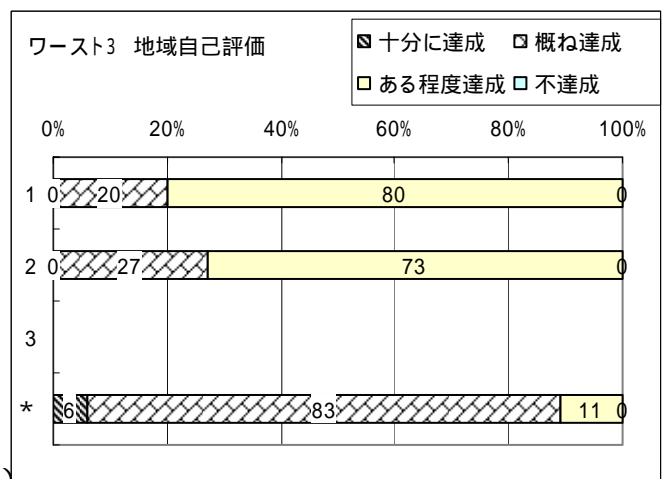
- 1 子どもは、地域で安全に気をつけて遊んでいる。
 - 2 子どもは、地域でよくあいさつをしている。
 - 3 (他の項目すべて肯定的評価100%)
- * 全体平均(14項目)

1 位「安全に気をつけて遊ぶ」の達成率20%

【26%減】である。

2 位「地域でよくあいさつをしている」達成率27%【11%減】である。

第1回の学校評価時より、2項目とも大幅にダウンしており、学校と家庭が協力して、あいさつと安心安全な地域での過ごし方(特に自転車の乗り方)について、指導・啓発していかなければならない。



* 年末のお忙しい中、第2回学校評価アンケートにご協力頂き、大変有難うございました。この

結果を、^{しんし}真摯に受け止め子ども達のために取組みを進めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いたします。

